

慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resources

Title	序
Sub Title	
Author	倉沢, 康一郎(Kurasawa, Yasuichiro)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1993
Jtitle	法學研究 : 法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.66, No.12 (1993. 12) ,p.5- 6
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	阪埜光男教授退職記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19931228--005

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

序

阪莖光男教授は平成五年三月、選定年制度により慶應義塾大学法学部を去られた。現在、桐蔭学園横浜大学法学部長の要職に就かれて、同大学における法学教育の充実・発展に力をそいでおられる。三田評論九五三号（平成五年一二月号）の研究余滴欄では、阪莖教授御自身の筆によって、法律理論と実務との架橋をめざすユニークな教育づくりの御苦心が語られている。

阪莖教授は、慶應義塾にあって常任理事・体育会理事・大学法学部長を歴任されたが、何といってもその貢献は御専門とされる商法学、就中会社法学の研究・教育の点において大きい。たまたま私は阪莖教授と専攻を同じくする直接の後輩であって、若いときからいろいろと御教示をえてきた。教授はその温厚な人柄と、邪心を抱かぬ育ちの良さによって、後輩に伸び伸びと研究をさせてくれた。私は、慶應義塾法学部にあって人一倍阪莖教授の学恩に感謝の念を抱くものである。

阪莖教授の学風は、一言でいえば、慶應義塾の実学の伝統を正統に継承するものである。それが、特に一〇年余に及ぶ司法試験審査委員および法制審議会商法部会委員のお仕事の中で刮目すべき成果を挙げられた一つの原因となっている。新しい大学での新しい法学教育の実践は、教授の商法学者としての半生の必然的な帰結であるものと私には

思われるのである。

今ここに、阪莚教授の慶應義塾御退職を記念して、教授の学恩を受けた多数の研究者の研究成果を蒐めた論文集を贈る。これだけすぐれた論文集が編まれたことこそ、何よりも教授の学恩の広さと深さとを物語るものといえよう。今後先生が御自愛され、ますます御活躍されんことを心からお祈り申し上げます。

平成五年十二月

法学部長

倉沢康一郎